

、。日本司法通訳士連合会  
司法通訳技能検定  
試験対策講座

---

第11回／司法通訳人の倫理

2010年 11月13日(土)

担当：弁護士 青戸理成

---

第1 司法通訳人に求められる倫理観

1 司法通訳人の役割

- ・ 裁判所の補助としての司法通訳人の役割
- ・ 捜査機関の補助としての司法通訳人の役割
- ・ 弁護士の補助としての司法通訳人の役割
- ・ その他の役割

2 司法通訳人に求められる通訳

- ・ 正確な通訳
- ・ 忠実な通訳
- ・ 公正な通訳
- ・ 迅速な通訳

3 司法通訳人と依頼者との関係

- ・ 依頼者が弁護士の場合
- ・ 依頼者が当事者（被疑者・被告人、原告・被告など）である場合
- ・ 依頼者が公的機関（裁判所・検察庁・警視庁など）である場合

第2 司法通訳人の倫理

1 基本倫理

- ・ 司法通訳人の使命
- ・ 信義誠実
- ・ 正確・忠実
- ・ 中立・公正
- ・ 法的助言の禁止
- ・ 秘密・プライバシーへの配慮
- ・ 品位の保持

- ・通訳を必要とする者の職務及び利益の保持義務
- ・能力向上への努力義務

## 2 依頼者との関係における倫理

- ・依頼者の秘密の保持
- ・依頼者との金銭貸借・保証・取引の禁止
- ・中立性の保持
- ・職務を行ない得ない事件

## 3 刑事事件における倫理

- ・刑事事件における司法通訳人の心構え
- ・弁護人の秘密交通権の保護
- ・国選弁護における対価の受領等

## 4 民事事件における倫理

- ・依頼者の権利の擁護
- ・代理行為の禁止
- ・援助事件における対価の受領等